

小学生

- 山口 真太郎さん(大津町)
- ▲ 金森 百合子先生(田鶴浜小学校元養護教諭)



金ヶ崎小学校が田鶴浜小学校に統合されてから新しい環境になじめず、しばらく登校できない日が続きましたね。家族や担任の先生の呼び掛けにも反応がなく、橋渡し役として自宅に訪問し「また明日待ってるね」と声掛けを続けること約2週間。学校に足が向くようになり、やがてみんなのリーダーとなって元気に過ごす姿を見てほっとしたのを覚えています。実は真太郎くんのお父さんも、私の初任時の金ヶ崎小学校の児童。これもまたご縁だなと嬉しく思っています。



能登有料道路無料化
のと里山海道に名称変更
(2013年3月)

保育園

- 藤野 有華さん(古府町)
- ▲ 一花 久美子先生(光の子保育園元保育士)



優しくてしっかりした子でした。友達にもさりげない気配りで手助けをしてくれたり、困っている様子を保育士に伝えてくれたりと、とても助かったのを覚えています。引っ張っていくタイプではありませんでしたが、友達からの信頼を集める子でした。



「能登の里山里海」が
世界農業遺産認定
(2011年6月)

能登半島地震発生
(2007年3月)

誕生時

- 山口 彩佳さん(大和町)
- ▲ 父:山口 宏治さん
母:山口 弥生さん



妊娠中医師に男の子と言われ、男の子の孫しかいない祖父母への申し訳なさから、家族に性別はなかなか言えず。妊娠後期に女の子と訂正されるも誕生するまで半信半疑でした。出産して間違いないことを確認すると、初めての女の子の誕生に、諸手を挙げて万歳する家族。少し泣くだけで抱っこの取り合いが始まり、愛情いっぱいに育ちました。これからは当たり前のごことに感謝する気持ちや謙虚さを忘れずに、自立に向かって歩んでほしいです。



1市3町が合併し七尾市誕生
(2004年10月)

消費税5%に増税
(1997年4月)

2017年～

高校生時代
(2012～2015年)

中学生時代
(2009～2012年)

小学生時代
(2003～2009年)

幼稚園・保育園時代
(～2003年)

誕生時
(1996年)

東京スカイツリー開業(2012年5月)

東日本大震災発生
(2011年3月11日)

アテネオリンピック
開催(2004年8月)

ユニバーサルスタジオ
ジャパン開園(2001年3月)

アトランタオリンピック
開催(1996年7月)

高校生

- 宮崎 莉夕さん(大和町)
- ▲ 木下 由美子先生(音楽教室講師)



13年という長い月日と一緒に歩んできましたが、発表会を重ねるごとに成長する姿にご両親と共に喜び合った日々が懐かしいです。高校生になってからはレッスンを休むことなく時間は必ず守り、変更があった場合でも時間通りに来るという、約束事を必ず守る心構えに感心していました。卒業コンサートでは、感謝の気持ちを込めた「めぐり逢い」を演奏し、多くの人を魅了していましたね。これからも努力を惜しまず、その素直さで、自分の夢に向かって進んでほしいです。



宮崎さんと藤野さんは
保育園からの幼なじみ

中学生

- 大峯 和菜さん(古府町)
- ▲ 坂井 岳人先生(七尾東部中学校教諭)



同じ学年の生徒197人のうち唯一3年間担任を務めた生徒です。活発で目立ちたがりで1番注意した気がしますが、控えめな子には優しく接したり、道徳の感想文が素晴らしいと人の気持ちが分かる子でした。合唱コンクールでは3年間指揮者を担当し、緊張し過ぎて失敗した3年生以外は指揮者賞を受賞。2人で朝特訓をしたこともあり。今では双子のお母さんとなり、母として家庭を大事にしてほしいです。縁があればお子さんの担任もぜひ務めたいですね。



これまでの
縁に
ありがとう

新成人を20年間温かく包んできた、保護者や地域の人たちの「縁」。新たな門出を迎えた新成人に、家族や恩師から、当時のエピソードとお祝いのメッセージをもらった。

成人式のために協力してくれていることを実感していきました。

成人式本番はあつという間に時間が過ぎたように感じます。緊張もしましたが、それ以上に久々に友達に会えた喜びや感動のほうが大きかったです。長い間会っていなくても、昔に戻ったようにふざけたり騒いだりできる最高の友達を持つたことを、本当に幸せだと思います。

実行委員という貴重な体験をさせていただいて、またそれを支えてくださった関係者の皆さまにも感謝しています。おかげでたくさんの縁が生まれ、実行委員のみんなが目標としていた、一生忘れない素晴らしい成人式を作り上げることができたのではないかと思います。これからは一つ一つの行動に責任を持ち、僕らの目標である父や母のような大人になれるように頑張っていきます。

知り合いの人からやってみたいかと誘っていただいたことがきっかけで、一生に一回のことを経験するチャンスだと思い、成人式実行委員長をやってみることにしました。実行委員会をまとめるのは思っていたほど簡単ではなく、予定が合わなかったり、内容が全然決まらなかったりと、大変なことが多かったです。しかし、メンバーの声掛けのおかげで徐々に委員も増えていき、みんなが打ち解けるにつれて、自分の意見を出し合い、話し合いがスムーズに進むようになりました。

また、本番が近づくにつれてラジオや広報の取材を受けるなど、たくさんの人が僕たちの



成人式実行委員長●平下 大地さん

縁がつながり、一生の思い出に残る成人式に